

## SEMINAR

## 国際理解基礎コース

国際理解における重要な概念そして、その参加型手法を学ぶ、国際理解教育の基礎コースです。参加型のワークショップや参加型によるアクティビティを体験したことのない人が対象です。

時間： 毎回10:00～17:00

(中1時間 昼食)

会場： 田端ふれあい館またはERIC事務所

申し込み方法： 参加費を振り込み、電話で担当まで

参加費： 20,000円 (全4回)

1回 7,000円

振込先： 4ページの研修参加用郵便振替口座へ

問い合わせ： 担当 田中

(03-3800-9416)

日程	テーマ	基本概念
第1回 4月26日(土)	自分と参加	自己理解・コミュニティ・協力・コミュニティと参加
第2回 5月24日(土)	環境/PLT	有限性・循環・多様性・相互依存・共有性・希少性
第3回 6月28-29日	対立と解決	対立・いじめ・構造的不公平・対立と紛争解決の手段・技能
第4回 7月26日(土)	プログラムづくり	システムと構造 構造的不公平 プログラムづくり

## グローバルセミナー

## Global Seminar '97

今年のグローバルセミナーでは対立解決の手法を学ぶことで、ともすれば「否定的」にとらえられてきた対立が、実は多様性、個性、信念のあらわれであることを理解し、そこから個人及び社会が成長できる力にしていけることを願って企画をたてました。

価値観が多様化する中で、私たちは異質なものと出会い、異質なものから学び、多様性をプラスにとらえる必要に迫られています。異質なもの間には対立があります。対立から学ぶことができるという信念、学ぼうという態度、そして解決のあり方を探る心構えが今の時代に生きる必須条件になっています。

第1日目は、対立から学ぶための手法や活動を体験し、対立の解決の大切さを伝えるためのトレーニングを中心に行います。2日目に、対立解決の手法としてよく使われるロールプレイや劇的手法を使いこなし、あるいは対立解決の授業案・研修プログラムづくりに挑戦していただきたいと思います。さらに、このような研修の手法・内容を参加者自身が広めていっていただけることで、日本における国際理解教育の内容を深め、推進することに寄与できる内容であることを確信し、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思ひます。

1997年6月28-29日

会場 東京YMCA国際奉仕園センター

東京都千代田区神田美土代町7-1 ☎03-3293-7011

教材 「対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方」

Conflict Resolution in the Middle School

by William J. Kreidler

ERIC

国際理解教育センター  
International Education  
Resource & Innovation Center

114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F  
Iwase Bldg. 1F, 1-14-1 Higashi-tabata,  
Kita-ku, TOKYO 114 JAPAN  
代表案内電話 & FAX: 03-3800-9414

# INFORMATION

## TSW研究会 (TSW 持続可能な世界のための教育)

オーストラリアのジョン・フィエン氏が編者になって開発した「TSW; Teaching for a Sustainable World」では「持続可能な世界のための教育は、環境、開発、人権、平和の4つの教育をひとつのものにとらえなければならない」、「持続可能な世界のための教育は、すべての発達段階において教えた内容と教える方法を一体化させた参加型学習でなければならない」と伝えています。TSW研究会は、このTSWの教員養成課程用教材を翻訳・学習しながら、日本版の開発を進める学習会です。8月にツアーを予定していますが、そのツアーで編者のジョン・フィエン氏を訪ねるまでは、オーストラリア・ツアーの中身を充実させるために事前学習会を兼ねながら進めます。月1回ぐらいを予定しています。

### 海外研修ツアー

#### ◆ オーストラリア研修ツアー

Fax情報番号 120#

「持続可能な世界のための教育」を進める指導者育成のノウハウを詰め込んだ5日間のサマー・セミナー。セミナーに参加後、シドニー近郊のオルタナティブ教育センターである、ビッグ・フェイス・ポイント他、環境教育関係施設を訪問するツアーです。

期間： 97年8月16～27日  
ツアーの目的： 「持続可能な世界のための教育」の

- (1) 指導者としてのスキル・アップ
- (2) 指導者育成のためのプログラム体験
- (3) カリキュラムの理論についての討議
- (4) 推進への取り組み・ネットワーク
- (5) 元気になる

研修の内容： (1) 「持続可能な世界のための教育」マニュアル執筆によるワークショップ  
(2) 環境・開発教育施設訪問

参加費： 37万8,000円 (4月末までに申込金5万円を振り込んだ場合 35万円)  
学生 20万円

申し込み・問い合わせ：同封の案内を参照して下さい。

#### ◆ イギリス研修ツアー

イギリスの古都ヨークでグローバル教育の研修に参加します。NGOや現地教員との交流を通じて、イギリスの教育事情や傾向、教材などを学ぶツアーです。センター・フォー・グローバル・エデュケーション (Centre for Global Education) 主催のサマー・スクール (8月1～8日)に参加する他、様々な角度からイギリスの実践を学び、自分たちの現場で活かしていきませんか？ツアー日程は7月下旬から8月中旬 (約2週間)、参加費は35万から40万円程度を予定。問い合わせは、田中まで。

次回 4月19日 (土) 17:00から

場所はERIC事務所で。ツアー後は、場所もERIC事務所から変えて、オープンな学習会にしていきたいと思っています。問い合わせは角田まで (03-3800-9415)



#### ◆ 米国環境教育ツアー

FIT; Forest Institute for Teachers

プロジェクトFitは、森林資源管理および森林の生態系についてバランスのとれたカリキュラム、技能や手法を習得できるように組まれたセミナーです。昨年に引き続いて今年もカリフォルニアで開催される夏のセミナーへ参加します。プロジェクトFitは概念的学習、批判的思考力、開かれた意思決定をクラスで推進できるように教員たちを強化しています。

日程： 日本出発97年7月11日 (金)  
Fit参加 97年7月13～19日 (土)  
米国出発97年7月22日 (火)  
(日本到着23日)

場所： カリフォルニア州 ハンボルト大学  
オプション： 環境教育や環境問題に取り組むNGOや施設、現場の訪問 (20～21日)

費用： 35万円 (往復旅費、米国内交通費、Fit参加費 (研修費、宿泊費、研修中の食費) を含む)

申し込み、問い合わせは、高橋まで。

#### Fax情報の利用の仕方 (Faxつきの電話で利用可能)

ERICの代表番号 (03-3800-9414) に電話をかけると音声案内が流れます。音声案内に従って利用番号を押すとFaxで案内を引き出すことができます。

## 研修・研究会員

### 研修会員

ERIC主催のセミナー・研修会に無料で参加していただけます。これから参加型国際理解教育の担い手をめざしたい方、様々なプログラム、アクティビティを体験したい方、是非ご参加下さい。資料室閲覧、スタッフによるプログラム相談も無料です。

年会費 50,000円

### 研究会員

ERICの研修を体験した、参加型学習の経験のある方が対象です。プログラム、アクティビティの研究に参加したり、実際にセミナーのファシリテーターを努めてもらったり、派遣します。年会費 20,000円

## 資料室会員募集！

国際理解教育を推進するため、ERICをサポートし、一緒に資料室を運営していただける方、国際理解教育に興味がありもっと身の回りから国際理解を進めていきたいと思っている方、会員になって参加して下さい。ERICの資料を生涯無料で活用できます。

資料室の閲覧日：火曜日～土曜日

(年末年始・水・日曜祝日/土曜日はワークショップなどが入っている時はお休み) 開架となっている資料・図書は現在、英文資料のみです。

利用時間：午後1時～6時

利用料：500円/人/日

電話予約が必要です。

# BOOK & RESOURCE

## 新着資料紹介

..... 続：ヨーロッパ研修のおみやげ

### Values and Visions

A handbook for spiritual development and global awareness by S. Burns and G. Lamont, Manchester Development Education Project Ltd/Christian Aid, 1998

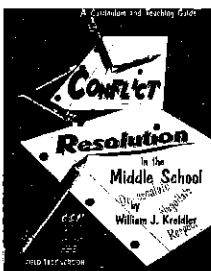
「あなたの子どもに一つだけ何かを贈ることができるのなら、それは何か」という問いに、「愛」「寛容」「感受性」など25程の親や教師等の答がのっている。自分という人間の内面の価値観を見つめ、その特質を育てる過程で、周りのつながり、グローバルなつながりに気づき働きかけていこうという本。

### Conflict Resolution in the Schools

A manual for Educators  
by Kathryn Girar & Susann J. Koch,

小・中学校の指導者向け。「対立」は日常的なものとして扱い、「いじめ」から「対立」の有効な解決手段、技術を紹介し、また、メディエーター(仲裁者)としてのスキルも訓練していこうとする本。

## ERIC企画・編集・出版・新刊紹介



### 対立から学ぼう

「中等教育におけるカリキュラムと教え方」  
Conflict Resolution in the Middle School

対立とは何か、対立を激化するもの、対立の分類、対立の解決方法、交渉、調停、仲裁(第三者による対立へ介入の仕方)、偏見や差別、多様性と対立など対立をとりまく心理や関係について知り、考え、行動するための指針となる、理論に裏打ちされたアクティビティが詰まった内容です。定価 6,150円(税込み) 予定



### 「参加型で伝える12のものの見方・考え方」

人類共通の課題について参加型で伝えることが、未来に向けた教育・市民社会の基本です。ものごとを把握しようとする時の基本的なものの見方・考え方で参加型手法を整理し、ERICのオリジナル実践例を紹介しています。学校教育だけでなく、社会教育、行政、企業など幅広く活用できます。



### 「一緒にワクワク」

公園での環境教育 指導者用ハンドブック

ご好評の公園を環境教育に活用できる子ども向け「ワクワク・ワークブック」の指導者版。学校だけでなく地域やグループで環境教育活動をしようとする人たちにお勧め。

価格：900 発行元：大蔵省印刷局

申し込み：ERIC

郵便振替口座 00160-3-547794

## 資料室テーマ別ブックフェア！

資料を見て、読んで、関連のアクティビティも体験。2ヵ月毎にテーマを変えて資料をご紹介します今回のテーマは「表現する」。ERICの資料室のなかから劇的手法を主に扱っているもの、英語版と日本語版も合わせてご紹介できればと思います。できれば予約をいれてください。お待ちしております。（参加費用500円）



### お知らせ

#### ●フロッピー版

ERICのワールドカード 4月発売

世界の中の132の国々をデータ化したら、一つフロッピーに取まりました。各国の人口、非識字率などの9項目に、「みんなが幸せ」などの特別項目もあり。後は、あなた次第で使い道は多様。ユニークな使い方を開発して下さい。まず、トランプゲームのように遊びながら、グループで自分自身の知識、創造性を育ててみてはいかがですか？

フロッピー1枚 300円（説明書付）  
申し込み：ERIC  
郵便振替口座 00160-3-547794

#### ●書籍価格改訂のお知らせ

消費税率の引上げに伴い、書籍の価格を改訂いたします。ERICの出版物・洋書については一律5%を上乗せし、（例：現行2,575円→改訂後2,625円）調査・制作協力出版物は従来通り一部500円を続けます。新価格は4月1日以後お申込分より適応致します。当分の間、本の定価表示とずれが出ますが、ご了承ください。書籍の新価格は、FAX情報番号083#：「ERICで入手可能な書籍・洋書・調査書などのご案内」をご参照ください。

#### ●FAX情報番号の訂正

前号で掲載したFAX情報番号に誤りがありました。正しくは、083#：ERICで入手可能な書籍洋書・調査書などのご案内。084#：ヨーロッパ研修報告書です。ご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

## ERIC CALENDAR

4月12日(土)	グローバルセミナーmtg	高橋	17:00より
4月19日(土)	TSW研究会	角田	17:00より
4月26日(土)	基礎コース第1回目「自分と参加」		10:00より
5月10日(土)	ファシリテーターmtg グローバルセミナーmtg	田中 高橋	14:00より 17:00より
5月17日(土)	ブックフェア テーマ「表現する」 ロールプレイ特集—ロールプレイって何？	馬場	17:00より
5月13~19日	PLTコーディネータ会議 アメリカ・メイン州		
5月24日(土)	基礎コース第2回目「PLT」		10:00より
5月31日— 6月1日(土・日)	PLTリーダー研修	久保	
6月7日(土)	ファシリテーターmtg ブックフェア テーマ「表現する」 劇的手法—わたしを表現する方法・観察する方法	久保 馬場	14:00より 17:00より
6月14日(土)	TSW研究会	角田	14:00より
6月28-29日 (土・日)	グローバルセミナー「」		

### ERIC資料室探検

ALL WORK AND NO PLAY  
Child Labour Today by Trades Union Congress,  
London, 1985

日本も少し前までは、子どもが家の手伝いをし、また、年期奉公に行くと言うのはあたりまえで、一人前の労働力となっていました。子どもが子どもとして考えられ、扱われ始めたのは明治時代になってからだとか。この本は、子どもについての定義から始まり、貧困について、子どもたちの現実について豊富な写真、わかりやすい英文で語りかけてきます。1985年発行ですが、1997年の現在、どのようによくなったか比較して見ると新しい発見があるかもしれません。子どもたちの笑顔の写真が印象的です。

# ERIC

国際理解教育センター

書籍購入・研修参加費用はそれぞれ下記の口座に振り込み願います。  
書籍専用 郵便振替口座：00160-3-547794 加入者名：ERIC  
研修参加用 郵便振替口座：00180-5-710744 加入者名：ERIC事務局  
ERIC通信6号 発行責任者 角田尚子 印刷 株式会社TRY  
国際理解教育センター（ERIC） 〒114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル